

工 事 概 要

工事箇所				工区	3
切削オーバーレイ工	m2	2,190	路面切削工	m2	273
オーバーレイ工	m2	2,460	舗装打換え工	m2	217
区画線工	m	740	構造物撤去工	式	1

施 工 理 由

本工事は、傷んだ舗装を補修することにより、良好な道路環境整備を行い、安全で円滑な通行を確保するものである。	
---	--

		設計額		請負額	
		金額	増減額	金額	増減額
工	事	前回	円	円	円
		今回	円	円	円
内	工 事 価 格	前回	円	円	円
		今回	円	円	円
訳	消費税相当額	前回	円	円	円
		今回	円	円	円
支	給 品 費	前回	円	円	円
		今回	円	円	円

積算参考資料（間接費補正一覧）

単価使用年月	2026年4月	
歩掛適用年月	2026年4月	
基準適用年月	2026年4月	
単価地区	2601: I 地区	
調整区分	単独工事	
共通仮設費（率計上）		
主たる工種	06:舗装工事	
施工地域等補正	大都市（2）	1.5
ICT施工補正	補正なし	1.0
週休2日補正	補正なし	1.00
現場管理費		
施工地域等補正	大都市（2）	1.2
ICT施工補正	補正なし	1.0
週休2日補正	補正なし	1.00
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	金銭的保証	0.04%

見積参考資料（材料費等）

積算で採用した見積等の単価は下表のとおりです。

名称・規格	条件	単位	単価(円)	備考
機械器具損料 小型切削機【夜間】		台	217,200	
機械器具損料 給水連絡車【夜間】		台	45,650	
機械器具損料 小型バックホウ(クローラ)		台	4,230	

設計内訳書（本01）

工事名	舗装道補修工事(水垂上桂線他)					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路維持	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
道路維持			式	1				
舗装工			式	1				
切削オーバーレイ工			式	1				
切削オーバーレイ(3号工) 【夜間】		平均切削深さ:7cm以下, 舗設層数:一層, 段差すりつけ区分:設置撤去, 再生粗粒度アスコン(20)	m2	2,190				
路面切削工			式	1				
路面切削(3号工, 小型切削機) 【夜間】		小型切削機, 平均切削深さ:7cm以下	m2	273				
オーバーレイ工			式	1				
表層(車道・路肩部)(3号工) 【夜間】		材料種類:再生密粒度アスコン(13), 舗装厚:30mm, 平均幅員:3.0m超	m2	2,460				
舗装打換え工			式	1				
舗装版破碎(急速施工) 【夜間】		舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:9cm	m2	217				
不陸整正 【夜間】		1000m2未満, 舗装版のみの打換え, 有	m2	217				
基層(4号工) 【夜間】		材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満), 材料規格:再生粗粒度As(20・夜間), 舗装厚:50mm, 平均幅員:3.0m超	m2	217				
表層(4号工) 【夜間】		材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満), 材料規格:再生密粒度As(13・夜間), 舗装厚:40mm, 平均幅員:3.0m超	m2	217				

設計内訳書（本01）

工事名	舗装道補修工事(水垂上桂線他)					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路維持	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
区画線工			式	1				
区画線工			式	1				
高視認性区画線(リフ`式) 【夜間】		施工方法区分:リフ`式(溶融式),規格・仕様区分:実線 15cm	m	740				
構造物撤去工			式	1				
構造物取壊し工			式	1				
舗装版切断 【夜間】		舗装版種別:アスファルト舗装版,アスファルト舗装版厚:15cm以下	m	50				
運搬処理工			式	1				
殻運搬(路面切削) 【夜間】		殻種別:As殻(切削)	m3	161				
殻運搬(舗装版破碎) 【夜間】		殻種別:As殻(舗装版破碎)	m3	20				
殻処分(路面切削) 【夜間】		殻種別:As殻(切削)	m3	161				
殻処分(舗装版破碎) 【夜間】		殻種別:As殻(舗装版破碎)	m3	20				
仮設工			式	1				
交通管理工			式	1				

設計内訳書（本01）

工事名	舗装道補修工事(水垂上桂線他)					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路維持	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
交通誘導警備員 【夜間】		交通誘導警備員B	人日	27				
直接工事費			式	1				
共通仮設			式	1				
共通仮設費			式	1				
運搬費			式	1				
建設機械運搬費		運搬区分:路面切削機(ホイ-ル廃材積込)2.0m	台	2				
現場環境改善費			式	1				
みやこ柚木工事看板		1100×1400	枚	1				
共通仮設費（率計上）			式	1				
純工事費			式	1				
現場管理費			式	1				
工事原価			式	1				
一般管理費等			式	1				

設計内訳書 (本01)

[illegible]

1 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 1号	切削オーバーレイ(3号工) 【夜間】	平均切削深さ:7cm以下, 舗設層数:一層, 段差すり つけ区分:設置撤去, 再生粗粒度アスコン(20)	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
切削オーバーレイ WB430210		7cm以下, 一層, 設置撤去, 40mm, 各種, 2.35t/m3, タック コート	m2	1			単 17号 04-03-01	
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 2号	路面切削(3号工, 小型切削機) 【夜間】	小型切削機, 平均切削深さ:7cm以下	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	機械器具損料 小型切削機【夜間】 Y005800002001		台	1				[] [1]
	機械器具損料 給水連絡車【夜間】 Y005800002002		台	1				[] [1]
	諸雑費(率+まるめ) ZS8000004	1%	式	1				[1] []
	普通作業員 R0102		人	6.5				
	特殊作業員 R0101		人	4.2				
	土木一般世話役 R0125		人	1				
	運転手(特殊) R0114		人	2				
	機械器具損料 小型バックホウ(クローラ) Y005800002003		台	1				
	合計							
	単価						円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 3号	表層(車道・路肩部)(3号工) 【夜間】	材料種類:再生密粒度アスコン(13), 舗装厚:30mm, 平均幅員:3.0m超	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(車道・路肩部)		3.0m超, 30mm, 各種(2.30以上2.40t/m3未満), タックコート PK-4, 全ての費用	m2	1			04-01-02	
CB410260								
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 4号	舗装版破碎(急速施工) 【夜間】	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:9cm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
とりこわし掘削積込		舗装版のみの打換え, 有, 15cm以下, 40cm以下, 有	m2	1			単 18号 04-03-04	
WB430620								
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 5号	不陸整正 【夜間】	1000m2未満, 舗装版のみの打換え, 有	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
不陸整正 (路床又は路盤の補足材敷均転圧) WB430630		1000m2未満, 舗装版のみの打換え, 有	m2	1			単 19号 04-03-04	
再生粒度調整碎石 RM-30 (径30～0mm) Z301210060			m3	0.038				
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 6号	基層(4号工) 【夜間】	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満), 材料規格:再生粗粒度As(20・夜間), 舗装厚:50mm, 平均幅員:3.0m超	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装の敷均し転圧 WB430650		1000m2未満, 舗装版のみの打換え, 各種, 2.35t/m3, 1層, 50mm, 有	m2	1			単 20号 04-03-04	
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 7号	表層(4号工) 【夜間】	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格: 再生密粒度As(13・夜間),舗装厚:40mm,平均幅員: 3.0m超	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(車道・路肩部)		3.0m超,40mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),タックコ ート PK-4,全ての費用	m2	1			04-01-02	
CB410260								
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 8号	高視認性区画線(リフ式) 【夜間】	施工方法区分:リフ式(溶融式),規格・仕様区分:実 線 15cm	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
高視認性区画線設置		有り,リフ式,無し,実線 15cm,無し,無し,649kg/10 00m,JIS R 3301 1号のみ,75kg/1000m,25kg/1000m ,全ての費用	m	1			単 21号 06-01-02	
WB821310								
合計								
単価							円/m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 9号	舗装版切断 【夜間】	舗装版種別:アスファルト舗装版,アスファルト舗装版厚:15cm以下	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版, 15cm以下, 全ての費用	m	1			04-03-03	
CB430510								
合計								
単価							円/m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 10号	殻運搬(路面切削) 【夜間】	殻種別:As殻(切削)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬(路面切削)		有り, 11.0km以下, 全ての費用	m3	1			04-03-01	
CB430020								
合計								
単価							円/m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 11号	殻運搬(舗装版破碎) 【夜間】	殻種別:As殻(舗装版破碎)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		舗装版破碎, 機械(対策不要厚15cm超)又は必要, 有り, 12.0km以下, 全ての費用	m3	1			02-02-25	
CB227010								
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 12号	殻処分(路面切削) 【夜間】	殻種別:As殻(切削)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)			m3	1			単 22号 01-14-01	
WB020051								
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 13号	殻処分(舗装版破碎) 【夜間】	殻種別:As殻(舗装版破碎)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)							単 23号 01-14-01	
WB020051			m3	1				
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 14号	交通誘導警備員 【夜間】	交通誘導警備員B	単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B							単 24号 02-05-21	
WB010212			人日	1				
合計								
単価							円／人日	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 15号	建設機械運搬費	運搬区分:路面切削機(歩行・廃材積込)2.0m	単位	台	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
貨物自動車による運搬(1車1回)		路面切削機(歩行・廃材積込)2.0m, 10.3km, 無, 無	台	1			単 25号 01-02-02	
WB010010								
合計								
単価							円/台	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 16号	みやこ柚木工事看板	1100×1400	単位	枚	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
みやこ柚木看板 1100×1400			枚	1				
Z330640020								
合計								
単価							円/枚	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 17号 WB430210	切削オーバーレイ	7cm以下, 一層, 設置撤去, 40mm, 各種, 2.35t/m3, タックコート	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役							[] [1] []
	R0125		人	0.137				
	特殊作業員							[] [1] []
	R0101		人	0.41				
	普通作業員							[] [1] []
	R0102		人	0.683				
	アスファルト混合物 再生粗粒度As (20・夜間)							
	Y001102000002		t	10.058				
	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用							
	Z004130003		L	43				
	路面切削機運転	7cm以下, 一層						単 26号 04-03-01 [] [1] []
	WK430050		日	0.137				
	路面清掃車運転	7cm以下, 一層						単 27号 04-03-01 [] [1] []
	WK430060		日	0.137				
	アスファルトフィニッシュ運転	7cm以下, 一層						単 28号 04-03-01 [] [1] []
	WK430070		日	0.137				
	ロータリー運転	7cm以下, 一層						単 29号 04-03-01 [] [1] []
	WK430080		日	0.137				
	タイヤローラ運転	7cm以下, 一層						単 30号 04-03-01 [] [1] []
	WK430090		日	0.137				
	諸雑費(率+まるめ)							[1] [] []
	ZS8000004	20%	式	1				
合計								

2 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 17号 WB430210	切削オーバーレイ	7cm以下, 一層, 設置撤去, 40mm, 各種, 2.35t/m3, タック コート	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
単価							円/m2	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 18号 WB430620	とりこわし掘削積込	舗装版のみの打換え, 有, 15cm以下, 40cm以下, 有	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役								[] [1] []
	R0125		人	0.264				
特殊作業員								[] [1] []
	R0101		人	0.792				
普通作業員								[] [1] []
	R0102		人	1.056				
(コンクリート圧砕装置ベースマシン) バックホウ運転		舗装版のみの打換え					単 31号 04-03-04	[] [1] []
	WK430530		日	0.579				
コンクリート圧砕装置(小割機) 開口幅730mm 破砕力600kN								[] [1] []
	M000907001		日	0.579				
バックホウ運転		舗装版のみの打換え					単 32号 04-03-04	[] [1] []
	WK430110		日	0.808				
諸雑費(率+まるめ)								[1] [] []
	ZS8000004	9%	式	1				
合計								
単価							円/m2	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 19号 WB430630	不陸整正 (路床又は路盤の補足材敷均転圧)	1000m2未満, 舗装版のみの打換え, 有	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役							[] [1] []	
	R0125		人	0.058				
特殊作業員							[] [1] []	
	R0101		人	0.173				
普通作業員							[] [1] []	
	R0102		人	0.231				
小型ハックホリ運転		舗装版のみの打換え					単 33号 04-03-04	[] [1] []
	WK430540		日	0.304				
タイヤローラ運転		舗装版のみの打換え					単 34号 04-03-04	[] [1] []
	WK430150		日	0.143				
振動ローラ運転		舗装版のみの打換え					単 35号 04-03-04	[] [1] []
	WK430550		日	0.146				
諸雑費(率+まるめ)							[1] [] []	
	ZS8000004	9%	式	1				
合計								
単価							円/m2	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1. 500-00001 0. 0 0

単 20号 WB430650	舗装の敷均し転圧	1000m2未満, 舗装版のみの打換え, 各種, 2. 35t/m3, 1層, 50mm, 有	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役								[] [1] []
	R0125		人	0. 074				
特殊作業員								[] [1] []
	R0101		人	0. 223				
普通作業員								[] [1] []
	R0102		人	0. 297				
アスファルト混合物 再生粗粒度As (20・夜間)								[] [1] []
	Y001102000002		t	12. 573				
タイヤローラ運転		舗装版のみの打換え					単 36号 04-03-04	[] [1] []
	WK430150		日	0. 184				
振動ローラ運転		舗装版のみの打換え					単 37号 04-03-04	[] [1] []
	WK430550		日	0. 188				
アスファルトフィニッシャ運転 (ホイール型)		舗装版のみの打換え					単 38号 04-03-04	[] [1] []
	WK430170		日	0. 333				
諸雑費 (率+まるめ)								[1] [] []
	ZS8000004	9%	式	1				
合計								
単価							円/m2	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 21号 WB821310	高視認性区画線設置	有り, リブ式, 無し, 実線 15cm, 無し, 無し, 649kg/1000m, JIS R 3301 1号のみ, 75kg/1000m, 25kg/1000m, 全ての費用	単位	m	単位数量	1, 000	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
高視認性区画線設置 リブ式(溶融式) 夜間 豪雪無 実線15cm 制約無 単価補正1. 000 (FP3) Q001055019			m	1, 000			[] [2]	
塗料 高視認性区画線用リブ式溶融式 Y000500000001			kg	649			[] [1]	
ガラスビーズ 0. 106～0. 850mm Z004352001			kg	75			[] [1]	
プライマー 接着用プライマー 区画線用 Y000519000001			kg	25			[] [1]	
軽油 Z006702002			L	54			[] [1]	
ガソリン レギュラー Z006704001			L	2. 5			[] [1]	
諸雑費(率+まるめ) ZS8000004		2%	式	1			[1] []	
合計								
単価							円/m	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 22号 WB020051	処分費 (m3)		単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 As殻 (切削) 処分 (夜間)		Y007600000001	m3	100				
合計								
単価							円／m3	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1. 500-00001 0. 0 0

単 23号 WB020051	処分費 (m3)		単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 As殻 (舗装版破碎) 処分 (夜間)		Y007600000002	m3	100				
合計								
単価							円／m3	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 24号 WB010212	交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B		R0804	人	1				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／人日	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 25号 WB010010	貨物自動車による運搬(1車1回)	路面切削機(ホイ-#廃材積込付)2. 0m, 10. 3km, 無, 無	単位	台	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
貨物自動車基本運賃 20t車以上30t車まで 20kmまで		Z006811001	台	1				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／台	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 26号 WK430050	路面切削機運転	7cm以下, 一層	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)								
	R0114		人	1				
軽油								
	Z006702002		L	215				
路面切削機[ホイール式・廃材積込装置付] 排ガス型(第3次) 切削幅2.0m 深さ23cm		機械条件: 供用 持込						
	M001131014		供用日	1.28				
諸雑費(まるめ)								
	ZS3000004		式	1				
合計								
単価							円/日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 27号 WK430060	路面清掃車運転	7cm以下, 一層	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(一般)			人	1				
R0115								
軽油			L	39				
Z006702002								
路面清掃車[ﾌﾞﾗｼ・四輪式・路面切削工事用] ﾌｵｯﾊﾟ 容量1.5m3		機械条件:供用 持込	供用日	1.15				
M001101020								
諸雑費(まるめ)			式	1				
ZS3000004								
合計								
単価							円／日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 28号 WK430070	アスファルトフィニッシュ運転	7cm以下, 一層	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)								
	R0114		人	1				
軽油								
	Z006702002		L	59				
アスファルトフィニッシュ[ホイール型] 排ガス対策2014年規制 舗装幅2.3～6.0m		機械条件:供用 持込						
	M001003045		供用日	1.28				
諸雑費(まるめ)								
	ZS3000004		式	1				
合計								
単価							円/日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 29号 WK430080	ポートロー運転	7cm以下, 一層	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)								
	R0114		人	1				
軽油								
	Z006702002		L	29				
ポートロー[マカダム・排ガス型2014年規制] 運転質量10t 締固め幅2.1m		機械条件: 供用 持込						
	M000810002		供用日	1.28				
諸雑費(まるめ)								
	ZS3000004		式	1				
合計								
単価							円/日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 30号 WK430090	タイヤロー運転	7cm以下, 一層	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)								
	R0114		人	1				
軽油								
	Z006702002		L	22				
タイヤロー[普通型・排ガス対策2014年規制] 運転質量13～14t		機械条件: 供用 持込						
	M000820006		供用日	1. 28				
諸雑費(まるめ)								
	ZS3000004		式	1				
合計								
単価							円／日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 31号 WK430530	(コンクリート圧砕装置ベースマシン) バックホリ運転	舗装版のみの打換え	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)								
	R0114		人	0.48				
軽油								
	Z006702002		L	18				
バックホリ(クローラ) [標準] 山積0.45m3(平積0.35m3)								
	L001010003		日	1.36				
諸雑費(まるめ)								
	ZS30000004		式	1				
合計								
単価							円/日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1. 500-00001 0. 0 0

単 32号 WK430110	バックホリ運転	舗装版のみの打換え	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)								
	R0114		人	0. 65				
軽油								
	Z006702002		L	24				
バックホリ(クローラ) [標準] 山積0. 45m3 (平積0. 35m3)								
	L001010003		日	1. 24				
諸雑費(まるめ)								
	ZS30000004		式	1				
合計								
単価							円／日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 33号 WK430540	小型ハックホリ運転	舗装版のみの打換え	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)								
	R0114		人	0.58				
軽油								
	Z006702002		L	7				
小型ハックホリ(ローラ) [標準・超低騒音型] 排出ガス対策型(第3次基準)山積0.09～0.11m3		機械条件:供用 持込						
	M000201046		供用日	1.14				
諸雑費(まるめ)								
	ZS30000004		式	1				
合計								
単価							円/日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 34号 WK430150	タイヤローラ運転	舗装版のみの打換え	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)								
R0114			人	1				
軽油								
Z006702002			L	34				
タイヤローラ[普通型] 運転質量8～20t								
L001060003			日	1.34				
諸雑費(まるめ)								
ZS30000004			式	1				
合計								
単価							円／日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 35号 WK430550	振動ローラ運転	舗装版のみの打換え	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)								
	R0114		人	1				
軽油								
	Z006702002		L	18				
振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンパクト式] 運転質量3～4t								
	L001070011		日	1.34				
諸雑費(まるめ)								
	ZS3000004		式	1				
合計								
単価							円／日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 36号 WK430150	タイヤローラ運転	舗装版のみの打換え	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)								
R0114			人	1				
軽油								
Z006702002			L	34				
タイヤローラ[普通型] 運転質量8～20t								
L001060003			日	1.34				
諸雑費(まるめ)								
ZS30000004			式	1				
合計								
単価							円／日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 37号 WK430550	振動ローラ運転	舗装版のみの打換え	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)								
	R0114		人	1				
軽油								
	Z006702002		L	18				
振動ローラ(舗装用)[搭乘・コンパクト式] 運転質量3～4t								
	L001070011		日	1.34				
諸雑費(まるめ)								
	ZS3000004		式	1				
合計								
単価							円／日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 04
歩掛適用年月	2026. 04
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 38号 WK430170	アスファルトフィニッシュ運転 (ホイール型)	舗装版のみの打換え	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)								
	R0114		人	0.68				
軽油								
	Z006702002		L	38				
アスファルトフィニッシュ [ホイール型]舗装幅2.3～6.0m								
	L001210002		日	1.11				
諸雑費(まるめ)								
	ZS3000004		式	1				
合計								
単価							円／日	

特記仕様書（個別工事編）

工事名 舗装道補修工事(水垂上桂線他)
工事場所 京都市西京区牛ヶ瀬山柿町他地内

1 一般事項

第1条（適用）

本工事の施工に当たっては、「設計図書」によるほか、土木請負工事必携（以下「請負工事必携」という。）（令和7年8月京都市）」及び「特記仕様書（全工事共通編）（令和8年4月）」によらなければならない。

なお、本工事施工現場には、必ず請負工事必携、特記仕様書（全工事共通編）及び本特記仕様書を常備しなければならない。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「監督・検査」⇒「工事（土木、舗装、樹木等）の仕様書、様式等」参照

請負工事必携・特記仕様書（全工事共通編）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000292439.html>

第2条（受注者希望方式による「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施）

- 1 本工事は「京都市建設局週休2日工事」の対象（受注者希望方式による「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」）であり、「京都市建設局週休2日工事実施要領」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000322908.html>）に基づいて実施する。ただし、「通期の週休2日」は必須である。
- 2 受注者は、契約後すみやかに、「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施を希望するか否かを、発注者と協議し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。また、施工計画書の作成に当たっては、「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施内容を反映させること。
- 3 「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」を達成した場合は、工事成績評価の審査項目「創意工夫」において、加点対象となる。
- 4 受注者は、本市が週休2日の推進を目的に受注者に対して実施する「京都市建設局週休2日工事」に関するアンケート調査やヒアリング調査に、随時協力しなければならない。
- 5 工事標示板に「京都市建設局週休2日工事」である旨を明示すること（様式不問）。

第3条（受注者希望方式による「建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の実施）

- 1 本工事は「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の対象（ただし、受注者希望方式）であり、「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事試行要領」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000338803.html>）に基づいて実施する。
- 2 受注者は、契約後速やかに、建設キャリアアップシステムの活用を希望するか否かを、発注者へ通知し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。
- 3 建設キャリアアップシステムの履行状況を確認できた場合は、工事成績評価の審査項目「創意工夫」において、加点対象となる。

第4条（ウィークリースタンスの実施）

本工事は、ウィークリースタンスの対象である。

実施に当たっては、「京都市建設局ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受発注者相互に協力し、以下の項目について取り組むこととする。

- (1) 休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない。
- (2) 休前日（金曜日等）に新たな依頼をしない。
- (3) 勤務時間外に書類作成等の依頼をしない。
- (4) 昼休みや勤務時間外の打合せを行わない。
- (5) 作業内容に見合った作業期間を確保する。（適正な期限日を設定する。）
- (6) 打合せは Web 会議（ビデオ会議機能）も活用する。

なお、工事の特性を踏まえ、災害等の緊急的な対応、第三者等の要求に伴う対応及び関係機関等との協議による休日又は夜間作業等により、取組が実施できない場合の対処方法（依頼や期限に関する特例、代休、振替休日の措置等）については、受発注者で確認し、共有する。

第5条（前払金）

前払金は、請負代金の40%以内とし、中間前払金は、同様に20%以内とする。なお、前払金保証（中間前払金保証を含む。）について、電子証書の提出を可能とする。

※ 京都市入札情報館ホームページ「契約保証及び前払金保証に係る保証証書の電子化への対応について」参照（<https://www2.city.kyoto.lg.jp/rizai/chodo/info/pdf/2023/shoushodenshika.pdf>）

2 現場条件に関する事項

第1条（現場条件）

本工事の施工に当たっては、下記の現場条件等に留意すること。

- 1 区画線の位置は原則現況復旧であるため、現況の位置を控えておくこと。
所管警察との協議により復旧方法に変更が生じる場合については、監督職員の指示に従うこと。
- 2 騒音振動対策が必要な工種については、「必要」とする。
- 3 積算上の建設機械運搬費の運搬は、片道運搬距離 $L = 10.3 \text{ km}$ とする。
- 4 工事着手前に、地下埋設物の位置及び埋設深さの確認を行うこと。
- 5 舗装工については、急速施工とする。

第2条（工程）

- 1 請負者は、契約後速やかに監督職員と施工方法（工程調整事項等）について協議を行い、その内容を施工計画書に反映させること。
- 2 週間工程表は、その該当箇所を施工する前週金曜日（閉庁日の場合は直前の開庁日）の12時まで監督職員へ提出すること。関係機関（警察、消防、学校等）への配布が必要な場合は、請負者が配布を行うこと。

第3条（工事規制）

- 1 本工事施工箇所は、京都市道路工事調整会規約施行細則第17条に掲げる工事規制のうち、次の各号の規制種別に係る規制路線及び地域内であることから、同条に基づく規制期間及び規制内容を遵守しなければならない。なお、規制範囲は歩車道を含めた全幅とする。

京都市道路工事調整会規約施行細則

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000003649.html>

(1) 年末年始規制

規制種別	規制路線及び地域	規制期間	規制内容
年末年始規制	その他の道路	12月27日～1月5日	規制期間中は、新たな工事に着手し、又は工事区域を拡大してはならない。ただし、道路の仮復旧等、一般交通に開放するための工事はこの限りでない。

第4条（交通誘導警備員）

- 1 交通誘導警備員については、下表のとおり計上しているが、所轄警察署等の打合せの結果、又は条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配置場所	交通誘導警備員 (1日当たりの編成人数)	編成	昼間・夜間・ 24時間の別	交替要員の有無
施工箇所	3名	交通誘導警備員B 3名	夜間	無

第5条（工事現場の現場環境改善等）

現場環境改善等の実施項目については、以下のとおりとする。

なお、現場条件等により下記項目に変更が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとする。

（1） みやこ杉木を使用した木製の工事標示板の設置

（項目、仕様及び設置枚数の例）

項 目	仕 様	設置枚数
工事標示板	・ みやこ杉木を用いた看板 納品時に、生産事業体が発行する「みやこ杉木の出荷証明書」の原本又は写しを提出すること。 ・ 看板サイズは 1,100×1,400mm とする。 ・ 表示面はアクリル板とし、アクリル面に業務内容を印字する。 （文字数：180 字程度）	1 枚

また、設置箇所及び表示する内容については、監督職員と協議のうえ決定するものとする。

3 監督職員の確認に関する事項

第1条（材料確認）

受注者は、次表の材料・資材・製品について、監督職員が臨場のうえ、材料確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に材料等の名称・規格等を記載すること。

受注者は、監督職員が材料確認のために臨場した際、当該材料等の製造者が発行する品質を証明する資料（見本を含む）との照合、搬入された材料等の外観（角欠け、ひび割れ等）、形状、寸法及び数量等の確認を受けなければならない。

ただし、監督職員の確認が机上となる場合、受注者は、当該材料等の外観、形状、寸法（幅、長さ、高さ）及び搬入数量等が判別できる写真記録等の資料（納品書、納品伝票も可）を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該材料等を使用して工事を実施してはならない。

土木工事施工管理基準「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料

材 料・製 品	備 考
各アスファルト合材	「品質管理基準及び規格値」 (区分・項目・方法・頻度)

監督職員の指定に基づき実施する材料・資材及び製品

(「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料以外)

工種・種別等	細 別	材料・資材・製品
区画線工	高視認性区画線	区画線材料

第2条（受注者の臨場）

監督職員が行う段階確認においては、主任技術者（又は監理技術者、或いは監理技術者補佐）又は現場代理人、若しくは、予め監督職員の承諾を得た者が臨場のうえ、確認を受けなければならない。

第3条（段階確認）

受注者は、共通仕様書（3-1-1-4）の「表3-1-1 段階確認一覧表」に示す各種別、「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目及び次表の工種・種別等の施工段階において、監督職員が臨場のうえ段階確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に確認内容を記載すること。

ただし、監督職員による確認が机上となる場合、受注者は、施工状況、出来形、品質、不可視部分等の判別ができる施工管理記録（出来形成果表、設計図面との対比図、品質管理記録等）と写真等の資料を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該工種以降の作業を実施してはならない。

監督職員の指定に基づき実施する段階確認（「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目含む）
 （共通仕様書（3-1-1-4）の「表3-1-1 段階確認一覧表」に基づき実施する段階確認以外）

工種-種別等	細 別	確 認 項 目
切削オーバーレイ工	切削オーバーレイ	切削厚、舗設厚
オーバーレイ工	表層（車道・路肩部）	舗設厚

第4条（立会確認）

受注者は、次表に示す内容について、監督職員と現地で立会を行い、確認するものとし、監督職員が確認するまでは次の作業に進んではならない。

項 目	確 認 方 法・目 的 等
保安施設設置状況	工事による事故防止のため、監督職員と立会確認をする（ただし、立会確認書は必要としない。）。
ダンプトラックの過積載 状況確認	ダンプトラックによる過積載防止のため、監督職員と立会確認をする（ただし、立会確認書は必要としない。）。

第5条（品質管理試験）

本工事の施工に伴う品質管理試験の項目や規格値等については、土木工事施工管理基準（品質管理基準及び規格値）によるものとする。

4 建設副産物に関する事項

第1条（建設副産物の適正処理）

1 建設廃棄物が発生する場合の対応

本工事の施工により発生する建設廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の許可を受けた施設へ搬出するものとする。

なお、下表は積算上の条件明示であることから施設を指定するものではなく、監督職員の承諾を得て搬出先の変更を行うことができるが、原則として設計変更の対象としない。

また、産業廃棄物が発生する場合は「京都市産業廃棄物の不適正な処理の防止等に関する条例」（最終改正平成23年4月1日）を遵守すること。

特に、マニフェストを発行して産業廃棄物が適正に処理されたことを確認すること。このとき、受注者が排出業者であることとして保管の義務のあるA、B2、D、E票については、その原本を監督職員へ提示すること。

<産業廃棄物>

建設副産物	受入場所	備 考
アスファルト殻 (舗装版破碎)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都市伏見区横大路松林 18-1	設計運搬距離 L=9.7km
アスファルト殻 (切削)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都市伏見区横大路松林 18-1	設計運搬距離 L=9.7km

2 舗装切断時等において発生する濁水及び粉塵

受注者は、舗装切断時等において発生する濁水を回収し、産業廃棄物（汚泥）として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。

また、受注者は、濁水が生じない工法（空冷式等）を採用した場合も、濁水と同様に、吸引する装置の併用など、粉塵飛散防止対策を実施するとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。

当初設計には濁水及び粉塵の収集運搬及び処分に掛かる費用は計上していない。濁水処理費等が必要な場合は、設計変更の対象とする。

第2条（特定建設資材の分別解体等及び再資源化等）

- (1) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(最終改定令和7年6月1日)(以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等及び再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は、契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上明示した以下の事項と別の方法であった場合でも設計変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情に

より、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作業内容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎工(杭基礎等)	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他()	その他の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

※ 特定建設資材廃棄物を排出する場合、再資源化施設等の所在地については、本特記仕様書に示す「建設副産物の適正処理について」に記載のとおりとする。

(2) 受注者は、特定建設資材の分別解体等及び再生資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を別に定める18条様式に記載し、監督職員に報告すること。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

なお、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を提出した場合、18条に基づく報告を省略することができるものとする。

5 その他事項

第1条（工事書類の提出）

完成検査の受検に向けた出来形図書については、工期末の1か月前までに提出すること。また、完成検査に必要な工事書類については、工期末の2週間前までに提出すること。

第2条（受注者希望型におけるICT活用工事の試行）

- 1 本工事は、「京都市建設局ICT活用工事試行方針（案）」（令和7年8月）（以下「試行方針」という。）及び「京都市建設局ICT活用工事試行要領（案）」（令和7年8月）（以下「試行要領」という。）の内容に従いICT活用工事を試行できる。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「高度情報化」参照
(<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000290097.html>)

- 2 試行の対象工種は「試行方針」に定めた工種とし、「試行要領」の対象工種の詳細に基づき、ICT活用工事を試行できる。
- 3 受注者が試行を希望する場合、契約後施工計画書の提出までに、受注者はICT活用の効果、具体的な工事内容・数量及び対象範囲について、発注者へ提案、協議を行うこと。発注者と協議が整った施工プロセス①～⑤の全て又は何れかの段階で、ICT施工技術を活用できる。
なお、試行の対象工種が土工、舗装工、舗装工（修繕工）の場合は、施工プロセス①、②、③又は②、④、⑤を含む3つ以上の施工プロセスの活用を基本とし、その他のプロセスを含め協議により選定できる。
 - ① 3次元起工測量
 - ② 3次元設計データ作成
 - ③ ICT建設機械による施工
 - ④ 3次元出来形管理等の施工管理
 - ⑤ 3次元データの納品
- 4 ICT活用工事の費用については、当初は計上せず、発注者との協議が整った各施工プロセスの段階を設計変更に必要な経費を計上する。受注者は設計変更に必要な見積書を提出すること。
- 5 「試行要領」により有効に試行したことが認められた場合は、工事成績の「創意工夫」及び「工事特性」の項目で加点評価する。ただし、①3次元起工測量の1プロセスのみの活用は除く。

第3条（情報共有システムの利用）

- 1 本工事は、情報共有システム（以下「システム」という。）の利用対象とする。
システムの利用に当たっては、「京都市建設局情報共有システム活用ガイドライン（令和6年3月）（※）」（以下「ガイドライン」という。）を遵守するものとし、ガイドラインの内容を十分に確認したうえで事前協議を行うこと。
- 2 利用するシステムは、ガイドラインで定める要件を満たすシステムの中から、受注者が選定すること。
- 3 システムの利用に係る費用は共通仮設費率分に含まれており、システム提供者との契約や利用に係る手続等は受注者が行うものとする。
- 4 システムで発議・提出・受理などの処理を行った工事帳票は、「京都市建設局電子納品実施要

領」(以下「要領」という。)に基づき作成された仕様の電子データで出力し納品すること。

なお、要領は適宜改正されることから、適宜、京都市情報館を確認すること。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」参照

(<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000280681.html>)

第4条(受注者希望型における遠隔臨場の実施)

本工事は受注者の希望により遠隔臨場を行うものとする。

1 目的

本工事は、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領(案)」(令和5年3月)及び「建設現場における遠隔臨場に関する監督・検査実施要領(案)」(令和5年3月)の内容に従い実施するものとする。

2 実施内容

(1) 「段階確認」、「材料確認」及び「立会」の実施

ア 受注者が動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)により撮影する映像と音声を監督職員へWeb会議システム等を使用し、双方向の通信により会話しながら確認する。実施内容については、受発注者間の協議により決定するものとする。

イ 遠隔臨場に使用する動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)の資機材は受注者が準備するものとする。ウェアラブルカメラ等の資機材は、使用製品を限定するものではなく、一般的なAndroidやi-Phone等のモバイル端末を使用することも可能である。ただし、監督職員が使用するパソコン等の機器・ネットワーク環境に適合する資機材を使用するものとし、資機材の選定に当たっては監督職員から承諾を得ること。

なお、動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)の使用は、「段階確認」、「材料確認」及び「立会」だけでなく、現場不一致、事故などの報告時等でも活用効果が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。

(2) 効果の検証

遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査を実施する場合は、調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(3) 費用

遠隔臨場の実施に掛かる費用については、積上げ計上していないが、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領(案)」(令和5年3月)の内容に従い、遠隔臨場の実施に要する費用を設計変更の対象とする。

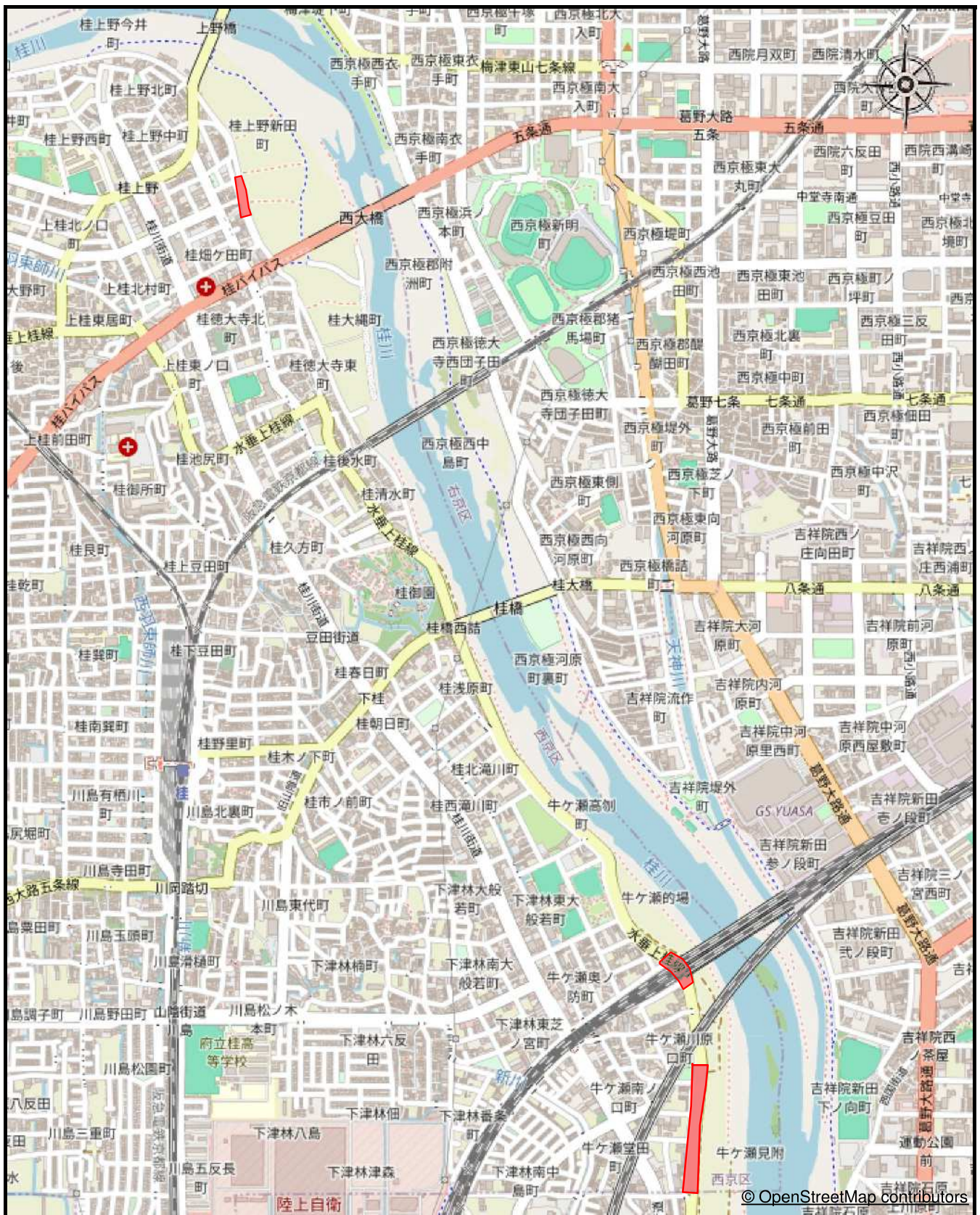
なお、遠隔臨場の実施方法については、施工計画書提出までの協議において提案するものとする。また、受注者はその費用について見積書を提出するものとする。

(4) 成績評定

遠隔臨場を実施した工事の成績評定は、考査項目「創意工夫」において、1点の加点とする。

位置図

舗装道補修工事(水垂上桂線他)



■ 施工箇所